

令和3年度

徳島県立川島中学校

学 校 評 価 計 画

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(1) 中高一貫教育の推進</p>	<p>①中高連携の促進に努め、生徒の個性や能力を伸張するとともに、異年齢集団における社会性の育成を進める。</p> <p>②6年間の計画的・継続的な教育の研究を進め、中高一貫性を促進する。</p>	<p>評価指標</p>	<p>①中高一貫教育推進委員会を定期的を開催し、生徒の現状に応じた教育活動を検討する。</p> <p>②学年をまたがったの活動を取り入れ、6年間を見通した特色ある教育を行っていると思うと回答する割合が85%以上を目指す。</p> <p>③6年間でしっかりとした学力を身につけることができると回答する割合が85%以上を目指す。</p> <p>④中高合同で実施された行事は高校生との交流を深めるのに役立っていると回答する割合が80%以上を目指す。</p>
		<p>活動計画</p>	<p>①併設高校と連携し、毎学期に教科会を行ったり、研究授業を行ったりするなど生徒の現状に応じた6年間の学習計画づくりをする。</p> <p>②儀式的行事や体育祭・文化祭だけでなく、必要に応じて行事等を実施し、生徒の積極的な参加を促す。</p>

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
(2) 確かな学力の充実と指導力の向上	① 個別面談の充実や、朝の学習、家庭学習など自主学習の促進に努める。  ② 学力向上を図る研修の充実や、授業の創意工夫に努める。  ③ 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習・指導方法の研究を推進する。	評価指標	① 家庭学習時間（塾なども含む）の平均が各クラス2時間以上をめざす。  ② 「1年間、計画を立てて振り返りながら学習に取り組むことができた」と答える生徒の割合が60%以上をめざす。  ③ 各種検定（漢検・英検・数検など）の受検率を昨年度より向上させる。  ④ 「单元ごとにICTを活用した、主体的・対話的で深い学びのある授業を1回以上実践できた」と答える教員の割合が80%以上をめざす。
		活動計画	① 至誠ノートを毎日提出させ、学習の計画を立て、振り返る習慣を身につけさせる。  ② 中高一貫校用の模試を活用して、大学入試まで見据えた学習指導を行う。  ③ 各学年で効果的な「質問タイム」や「補充学習」を実施し、個々の生徒の学力を伸ばす。  ④ 「授業力向上のための授業見学」において、公開授業に積極的に取り組む。

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(3) 生徒の能力・適性に応じた進路の実現</p>	<p>① 進路指導の改善・充実を図り、進路達成意欲を高める。</p> <p>② 三者面談・年次PTAなどにより保護者との連携強化に努める。</p>	<p>評価指標</p>	<p>① 「生活オリエンテーション」(1年生), 「先輩から学ぶ」(2年生), 「スペシャルアプローチ」(3年生) などを通して, 中学生が中学校の先輩や高校生と語り合うことは学校生活に役に立っていると思う生徒・保護者の割合を85%以上をめざす。</p> <p>② フューチャーにおいて, 将来の進路につながるキャリア教育を実施し, それぞれの発達段階に応じた体験活動が進路選択に役立つとの回答が85%を超えるようにする。</p> <p>③ 「進学説明会」, 「高校体験入学」(3年生) の実施が進路を見据えた学校生活に役立つとの回答が80%以上にする。</p>
		<p>活動計画</p>	<p>① 進路指導の充実を図り, 生徒の能力や適性を高めるため, 行事を通しての体験学習や, 質問タイム・補充学習・課題演習(全学年), スペシャルアプローチ(3学年対象)等の内容の充実を図る。</p> <p>② 体験的な活動を計画的に実施するとともに, 外部との連携を積極的に取り入れることで社会性を育て, 問題を解決する能力を養い, 進路選択を支援する。</p>

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(4) 基本的な生活習慣の確立を図る生徒指導の徹底</p>	<p>①生徒一人一人の自覚を促し、基本的な生活習慣を身につけさせる。</p> <p>②あらゆる教育活動を通して、きめ細やかな生徒指導を行い、いじめの防止等の取組に努めるとともに教育相談活動の充実を図る。</p>	<p>評価指標</p>	<p>①校則や交通ルールの遵守をめざし、90%以上が交通ルールを守れていると回答できるようにする。また登下校時の交通事故ゼロに努める。</p> <p>②あいさつをよくしているとの回答を、90%以上とする。</p> <p>③携帯電話を正しく使っているとの回答を90%以上とする。</p>
		<p>活動計画</p>	<p>①社会や学校のルールやマナーを守り、お互いが気持ちよく安全な生活を送れるようにする。また、徒歩通学生徒、自転車通学生徒、公共交通機関を使用する通学生徒、保護者送迎等それぞれの通学状況に応じた指導を行い、登下校時の事故やけがの防止に努める。</p> <p>②生徒相互、教職員、来客者に対するあいさつを徹底させる。特に全校集会等で生徒会本部役員とタイアップしてあいさつ運動を推進する。</p> <p>③外部講師による講話や講習会を毎学期に実施し、トラブル防止を推進する。</p> <p>④いじめの防止や、早期発見に努め、問題の背景や環境要因も考慮し適切な解決や支援を実行する。</p>

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画
<p>(5) 人権尊重の精神の涵養を図る人権教育の推進</p>	<p>① 人権教育指導計画の推進と，“あわ”人権学習ハンドブックの活用により人権問題を解決できる生徒の育成に努める。</p> <p>② 人権尊重の意識を高めるため，体験活動を積極的に取り入れた取組の展開に努める。</p>	<p>評価指標</p> <p>① 「人権学習に積極的に取り組んでいる。」と思う生徒の割合，80%以上をめざす。</p> <p>② 「人権の大切さを学び，それを日常生活に活かそうとしている。」と思う生徒の割合，80%以上をめざす。</p> <p>③ 「人権を大切にする教育活動が行われている。」と思う保護者の割合，80%以上をめざす。</p>
		<p>活動計画</p> <p>① 生徒の実態に即した人権学習主題を設定し，個別的な視点と普遍的な視点を結び合わせた学習を組み立てていく。また，“あわ”人権学習ハンドブックや「わたしの願い」の活用を努める。</p> <p>② 生徒一人一人の個性を生かし，大切にする学級づくりのため，学校生活に関するアンケートを行う。授業や指導の中で，いじめは，人権にかかわる重大な問題であり，絶対に許されない行為であることを徹底する。また，周囲と良好な人間関係を構築し，コミュニケーションをとることができるようにするために体験的参加型学習を取り入れる。</p> <p>③ 人権・放送委員会が積極的に活動する場を作り，生徒が自分たちの意見や考えを表現できる機会を設ける。</p>

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(6) 心身ともに健康な生徒を育てる特別活動の充実</p>	<p>①学校行事，生徒会活動を通じて生徒の自主性の育成に努める。</p> <p>②ホームルーム活動（学級活動）や部活動のより一層の充実と活性化を図る。</p>	<p>評価指標</p> <p>①学校行事に積極的に参加していると思える生徒を90%以上とし，保護者の理解も90%以上得られるようにする。</p> <p>②3年間を見通した体験学習が，豊かな心を育むために役立っていると90%以上が思えるようにする。また，本校の部活動が活発に行われているとの回答を，生徒・保護者とも80%以上にする。</p>	
		<p>活動計画</p> <p>①目的や運営のあり方を見直し，生徒の実態に応じて学校行事をより充実したものにす。</p> <p>②各生徒会専門委員会の意義や役割を周知し，生徒の自主的な活動をすすめるため，生徒会活動の活性化を図る。</p> <p>③学校生活や学級における身近な課題をもとに話し合い，積極的・実践的に学級の合意が図れるよう指導する。</p>	

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(7) 環境教育及び国際理解教育の推進</p>	<p>①新学校版環境 I S O に取り組むなど環境保全活動に努める。</p> <p>②国際性を高めるため積極的に国際交流を図る。</p>	<p>評価指標</p>	<p>①「ゴミの分別・節電・節水等に努めている」と回答する生徒の割合が 75 %以上をめざす。</p> <p>②外国の言語や文化に触れ，視野を広げるのに役立つ国際交流事業を行っていると思える生徒が 80 %以上となるようにする。</p>
		<p>活動計画</p>	<p>①「新学校版環境 I S O」の認定校として，環境美化委員会を中心に清掃活動やリサイクル活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中庭の花壇の水やりと玄関の掃除を環境美化委員が当番制で毎日行い，校内の美化に努める。</li> <li>・学期ごとに環境美化委員会で学校周辺のゴミ拾いをする。</li> </ul> <p>②国際交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流事業やグローバルの授業を通して留学生や海外の学校との交流の機会を積極的に取り入れる。</li> </ul>

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(8) 開かれた学校づくりと安全教育の推進</p>	<p>① 地域貢献活動等の活性化や、ホームページ等を活用した広報活動の充実地域の連携を深め、外部評価結果を活かす取組を推進する。</p> <p>② 地域と連携した安全・防災教育の積極的な推進に努め地域防災を担う人材を育成する。</p>	<p>評価指標</p>	<p>① 「参観日や見学会を通して、学校の特色が伝わっている」と思う保護者の割合 80 %以上をめざす。「外部講師を招いての授業の機会が多く設けられている」と思う生徒の割合 70 %以上をめざす。</p> <p>② 「ホームページは、学校の広報活動に役立っている」と思う保護者の割合 80 %以上をめざす。</p> <p>③ 防災避難訓練に真剣に取り組んでいる生徒の割合、90 %以上をめざす。</p>
		<p>活動計画</p>	<p>① 参観日や学校公開の日、県立川島中学校見学会の機会に特色ある授業を実施し、学校の取組を発信する。また、小学校への広報として学校パンフレットや広報誌「絆」の配布を行う。</p> <p>外部講師を招いての出前授業や学校行事、部活動などの学校の取組をホームページで発信し、学校の広報活動を充実させる。また、すべての教員で分担してホームページの更新に取り組めるよう、マニュアルの作成と教員研修を行う。</p> <p>② 防災避難訓練にあたっての事前、事後指導の徹底をはかり、中高連携をはかりながら総合的な学習の時間で防災学習を行う。</p> <p>防災クラブの活動の活性化を図るための取組を行う。</p>